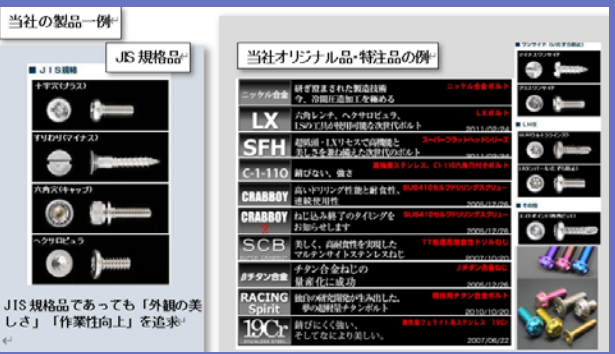




当社が誇る業界トップレベルの多彩なねじ部品

○本社所在地：静岡県静岡市清水区興津中町1424

○事業概要：ねじ部品の設計・製造・販売

○常時使用する従業員数：66人（2024年12月期）

○現在の売上高：11 億円（2024年12月期）

○法人番号：1080001007746

○Web： <http://www.okitsurase.co.jp/>

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
柿澤 宏一

総合ねじ部品メーカーとして21世紀をリードする切磋琢磨を続ける

当社は「産業の塩」とも呼ばれる「ねじ」の開発製造を専門とする製造業者である。当社製品は、特にステンレスねじに関しては、品質・シェア共に国内トップクラスを誇り、様々な業界用途で採用されている。国内ではねじ専門の業者が減少しており、当社は小ロットから大量生産までカバーできる有数の企業として存在価値を強めている。市場環境としては、顧客のニーズが「規格品・量産型の低付加価値のねじ」と「特殊ねじ（特殊鋼製ねじ、複雑形状化したねじ）」への二極化が進んでいることから、当社は先端領域で求められる高品質・特殊形状のねじおよび精密部品を提供できる事業者として差別化を図る戦略を取り、先端市場における新たな顧客ニーズを捉える。

売上高100億円実現の目標と課題



課題

- ・ 先端の製造業界では、生産プロセスのオートメーション化により、特殊形状ねじおよび精密部品のニーズが高まっている。これに対応するため、当社の技術基盤のさらなる強化と生産体制の拡充が急務になっている。
- ・ 生産体制の確立をはかるため、大規模な投資を行い、量産に特化した新工場を開設することが急務になっている。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

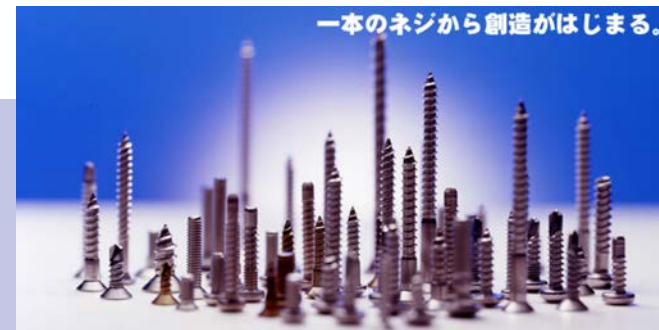
- ・ 大規模な設備投資によって、生産量を増強し、先端領域（FA）の大型の受注を可能にし、増収を図る。
- ・ 他社製品・ねじ以外の精密部品の二次加工サービスも開始、当社の技術力を活かした形状・精度の追い込みを提供。
- ・ 先端領域向けの高精度・複雑形状のねじ部材は、加工難度が高く、当社の技術力と競争力を発揮した事業が展開できる。
- ・ 業界で差別化できる特長を持たない企業の廃業が相次いでいることを受け、価値ある企業のM&Aを当社主導で進め、業界内のリーディングカンパニーとしてさらに成長する。

実施体制

- ・ ハード面について、工場設備を拡充する（スペックの高度化、生産量増強・耐震補強等）
- ・ 半導体分野やEV分野等、ねじの開発・製造にあたっては、機密事項も多く、要求精度も高水準なため、取引先メーカーの技術担当者との密な連携と情報共有により、製品開発および量産計画を進める。
- ・ 当社既存の人的資産、技術資産、M&Aによって獲得した資産を最大限に活用し、ねじ業界のリーディングカンパニーとして高精度なねじの開発・量産を進める。

当社の強みを生かした成長戦略

当社は1939年創業の総合ねじ部品メーカーである。特にステンレスねじに関しては、**品質・シェア共に国内トップクラス**を誇り、住宅、家電、自動車、産業用ロボット、工作機械等の様々な業界において当社製品が採用されている。近年では、チタン合金やニッケル合金など難加工材にも積極的に取り組み、レース用、スポーツ用品、半導体製造装置向けの**特殊なねじ製品の開発製造分野において業界をリードし、小ロットから大量生産までカバーできる有数の企業になっている。**



【売上100億円達成のための成長ビジョン】

【興津螺旋株式会社（ねじ部品総合メーカー）】

- ・特にステンレスねじにおいて、**品質・シェア共に国内トップクラス**
- ・卓越した製造技術と品質管理技術
- ・技術開発力に優れている
- ・顧客のニーズを具現化する幅広い対応力
- ・多品種の豊富な品揃え（約1万品目）
→JIS規格品はもちろんのこと、オリジナル新商品やオーダーメイド製品も充実
- ・規格品であっても「外観の美しさ」「作業性向上」を目的とした興津螺旋ならではの工夫を施し、**他社製品にはマネのできない優れた性能を発揮**

目指す姿

①ねじ専門企業からの脱却、高精度な二次加工製品の受注

当社の高度なねじ製造技術は、FA市場、ロボット市場、半導体市場、次世代自動車分野などの**先端分野から注目されており、ねじ以外の精密部品への二次加工のニーズが高まっている。**

→このニーズに応えるため、持ち込みの精密部品の二次加工サービスの提供を開始。
技術サービス型のビジネスを開始し、利益率を向上。

②ねじ専門企業の再編をリード、M & A（企業買収）により、高度な個別技術をもつねじ製造企業技術を取り入れる

→ねじ製造業界ではコア技術等の強みを持たない企業の廃業が相次いでおり、国内供給力が低下している。当社はこれを受け、価値ある企業のM & Aを当社主導で進め、業界内のリーディングカンパニーとしてさらに成長する。

先端産業へのねじ・精密部品の国内供給力を拡充

【中長期経営計画の3つの要素】

- ①**技術面**：独自の精密加工技術を応用し、精密部品の二次加工（精度・形状の追い込み）ニーズを捉える
- ②**経済面**：ねじ専門企業の再編をリードし、先端分野への精密部品二次加工技術の提供・ねじ部材の安定供給により収益基盤を拡充する
- ③**地域・環境面**：SDGsの取組の推進、従業員ならびに協力会社の繁栄、雇用を通じた地域貢献を目指す

【興津螺旋株式会社の2030年のあるべき姿】

高品質な製品でお客様の仕事の効率を高め、人々に安心と信頼を提供する。会社で働く情熱ある社員とその家族の幸福を追求する。

【興津螺旋株式会社のねらい、特徴的な活動】

事業活動から生じる様々な影響を明確に捉え、全員参加で身近なところからSDGs活動に取り組む。